

# 指定管理者制度導入施設の第三者評価結果【対象年度:平成24年度】

## 1 評価対象施設

|       |              |        |                           |
|-------|--------------|--------|---------------------------|
| 施設名   | 長野県山岳総合センター  | 所管部・課室 | 教育委員会事務局 スポーツ課            |
| 指定管理者 | 長野県山岳協会・やまたみ | 指定期間   | 平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間) |

## 2 評価者(敬称略,五十音順)

| 評価者名   | 役職等                 | 備考          |
|--------|---------------------|-------------|
| 宇賀田 伸彦 | 公認会計士               | (専門家)       |
| 菊地 俊朗  | 長野県山岳総合センター 運営懇談会会長 | (利用者)       |
| 笹井 文雄  | 長野県山岳総合センター 友の会会長   | (利用者)       |
| 中野 勝志  | 弁護士                 | (専門家)       |
| 渡邊 雄二  | 国立登山研修所 所長          | (選定委員会外部委員) |

## 3 評価の実施状況

| 年月日         | 場所                           | 内容                            |
|-------------|------------------------------|-------------------------------|
| 平成25年11月28日 | 長野県山岳総合センター<br>(大町市大町8056-1) | 平成24年度の管理運営状況及び県のモニタリング状況について |

## 4 評価結果

| 項目            | 指摘・意見等  | 左記への対応方針   |
|---------------|---|--|
| 施設の目的に沿った管理運営 | <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理制度導入以前と比べて、開館時間の変更やPR活動など利用者ニーズに大きく貢献している。</li> <li>全国でも数少ない安全な登山活動を推進する施設として、今後一層の有効活用ができるよう模索してほしい。</li> <li>施設の老朽化等の課題を抱えながら、安全管理に配慮した管理運営がなされている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、施設の設置目的に沿った適切な管理運営が確保されるよう確認していきます。(県)</li> </ul>  |
| 平等な利用の確保      | <ul style="list-style-type: none"> <li>県内の利用者に限らず、県外へも情報発信がなされている。</li> <li>初心者から経験者まで利用できるよう、講座が工夫されており、評価できる。</li> <li>平等な利用は確保されているが、人工岩場については、特定団体が占有しないよう対策が必要。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>登山者の意識や行動が多様化する中、ニーズを見極め幅広く利用していただけるよう確認していきます。(県)</li> <li>人工岩場の利用については、特定の団体が占有することのないよう、申込み受付時の確認内容や利用ルールを見直します。(指定管理者)</li> </ul>                       |
| 利用者サービス向上の取組  | <ul style="list-style-type: none"> <li>講習回数の飛躍的なアップ、講習内容の充実など、民間による対応力の大きさを感ずる。</li> <li>講習会の内容について、利用者の需要に応じており、評価できる。</li> <li>利用者視点でのサービス向上に努力している様子が窺える。</li> <li>参加者が定員を超えている講座も多く、利用者の目的と一致したサービスが提供されている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、気持ちよく施設を利用していただけるよう、サービスを向上していきます。(指定管理者)</li> </ul>   |
| 自主事業          | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボルダリング、年少者向け講習など、新分野の取り組みは評価できる。</li> <li>安全対策には十二分に配慮していることが見て取れるが、自然相手の事業であり、今後も対策には念を入れてほしい。</li> <li>講師の確保等難しい状況の中、講習回数が大幅に増えている点は評価できるが、安全登山・遭難防止啓蒙の観点から、大都市部での出張講座も検討すべき。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全登山や野外活動の啓発・普及につながる講習を安全に留意しながら行います。(指定管理者)</li> <li>出張講座については、現体制では難しいため、まずは、講習に参加できない人の為に、情報発信を強化していきます。(指定管理者)</li> </ul>                               |
| 職員・管理体制       | <ul style="list-style-type: none"> <li>現職員だけでは負荷が大きいように感じる。柔軟な対応を要する。</li> <li>個人情報の取り扱いについては、基準を設けること。</li> <li>少ないスタッフで、施設を管理し、事業を展開していることは素晴らしい。繁忙期は補助員等を雇用し、スタッフの負担軽減について配慮が必要。</li> <li>指定管理制度導入以前よりも少ない体制で倍する効果を得ており、評価できる。</li> <li>コンプライアンスを意識した取組みが行われており、適切な組織管理が行われている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>H26年度中に、個人情報の取り扱い基準を設けます。</li> <li>柔軟な勤務体制や外部人材の補助を受けるなど職員の負担が過重にならないよう配慮して運営を行います。(指定管理者)</li> <li>引き続き、コンプライアンスを意識した適切な組織管理が行われるよう確認していきます。(県)</li> </ul> |
| 収支状況          | <ul style="list-style-type: none"> <li>黒字計上は、職員の努力と考えられ、高く評価する。</li> <li>様々な努力により、適正に会計処理がなされている。</li> <li>自主事業の講習料金については、安全対策等も踏まえ、適正な料金設定となるよう検討すること。</li> <li>初年度から成果が出ていることについて、評価できる。</li> <li>コスト削減のための工夫、自主財源の確保等、努力されており、決算書も明瞭。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な施設管理による健全な経営努力を引き続き進めていきます。(指定管理者)</li> <li>講習会の受講料の額については、安全対策にかかる費用などを勘案し、適正な料金設定となるよう検討を行います。(指定管理者)</li> </ul>                                       |
| 総合評価          | <ul style="list-style-type: none"> <li>少ないスタッフでこれだけの運営が出来ていることは素晴らしいが、主催事業の実施にあたっては、スタッフに過度な負担がかからない様、安全面で配慮が必要。</li> <li>いろいろな面を勘案しても、A評価は妥当。</li> <li>指定管理者制度によるサービスの質の向上が見られ、評価できる。</li> <li>経営、事業内容も大幅に向上。さらに発展できる余地あり。</li> <li>運営が改善されていることは、利用者数の推移からみても明白であり、その成果は大きい。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、利用者が安全に楽しく、登山や自然のことを学べる施設を目指して運営を行っていきます。(指定管理者)</li> <li>主催事業については、外部の力を活用するなど、さらに工夫を継続していきます。(指定管理者)</li> </ul>                                      |